



学保安埼実第13-1号
令和元年7月11日

各都道府県教育委員会教育長 様

令和元年度全国学校保健・安全研究大会
埼 玉 県 実 行 委 員 会 長
(埼 玉 県 教 育 委 員 会 教 育 長)

令和元年度全国学校保健・安全研究大会の開催について (依頼)

時下、貴職に置かれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

標記大会につきまして、別添開催要項のとおり実施いたします。

つきましては、大会の趣旨を御理解の上、下記について貴域内の市町村教育委員会及び各幼稚園、認定こども園、学校、関係団体並びに国立及び私立学校の関係者等に御周知いただくとともに、教職員の参加について特段の御配意をお願いいたします。

なお、開催要項等については、埼玉県ホームページにも掲載しております。

記

1 送付物

- (1) 開催要項
- (2) 募集要項 (参加登録・宿泊・弁当の御案内)

2 参加申込について

- (1) 申込期間 令和元年7月22日 (月) 午前9時から
 令和元年9月30日 (月) 午後5時まで
- (2) 申込方法 別添「募集要項」を参照し、大会専用ホームページから申し込んでください。

※ 申込、取りまとめについては、株式会社日本旅行埼玉支店に委託しています。

※ 下記ホームページに開催要項等を掲載します。

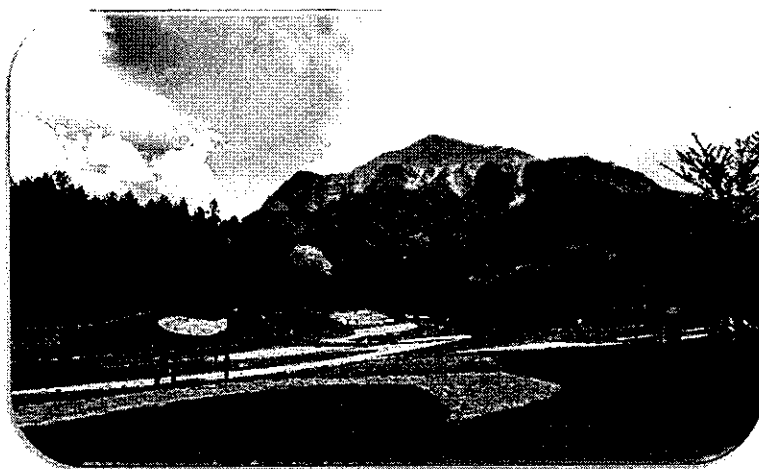
埼玉県教育局県立学校部保健体育課ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/f2211/zenkoku-kenkouanzen.html>

令和元年度全国学校保健・安全研究大会
埼玉県実行委員会事務局
(県立学校部保健体育課内)
担当：馬場久美子、塚本 卓司
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1
Tel : 048-830-6963 Fax : 048-830-4971
E-mail : a6960-09@pref.saitama.lg.jp



令和元年度 全国学校保健・安全研究大会 開催要項



令和元年度 全国学校保健・安全研究大会
埼玉県実行委員会

令和元年度全国学校保健・安全研究大会開催要項

1 趣 旨

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えている。学校生活においては、メンタルヘルスにかかわる課題、アレルギー疾患、性に関する課題、依存症、感染症など、現代的な健康課題は多様化かつ深刻化している。また、登下校中の交通事故や不審者への対応など、学校管理下における子供の安全と安心確保がますます重要な課題となっている。さらには、東日本大震災をはじめ各地で発生する自然災害等を鑑みた新たな「防災教育」の充実、原子力災害への対応など、新しい課題も発生してきている。

これらの課題解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。

本大会は多年にわたる研究成果を踏まえ、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成をめざして、諸課題について研究協議を行い、学校保健・学校安全の充実発展に資するものである。

2 主 題

生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～主体的に健康課題の解決に取り組み未来を拓く子供の育成～

3 主 催

文部科学省、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、(公財)日本学校保健会、埼玉県学校保健会

4 期 日

令和元年11月21日(木)・22日(金)

5 開催地及び会場

開 催 地 埼玉県さいたま市
会 場 ソニックシティ(さいたま市大宮区桜木町一丁目7-5)

6 内 容

(1) 全体会(開会式、表彰式、記念講演)

・開会式

・表彰式

学校保健・学校安全の功労者に対する文部科学大臣表彰を行う。

・記念講演

講演内容 「子供のインターネット利用と健康」

講 師 埼玉大学 教育学部 教授 戸部 秀之

(2) 課題別研究協議会 (別表)

10 課題について、課題別に研究発表、研究協議、指導助言及び講義を行う。

(3) 全国学校保健会中央大会

7 日程及び内容

【1日目】11月21日(木)

11:30	12:00	12:30	13:00	14:00	14:30	16:00
	一般参加者 受 付		【開会式】 【表彰式】	休憩 [受賞伝達式]	【記念講演】	
	受賞者 受 付	受賞者 打合せ				

【2日目】11月22日(金)

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30
受付	【課題別研究協議会】(5 課題)		昼食 休憩	【課題別研究協議会】(5 課題)
				全国学校保健会中央大会

8 参加対象者

- (1) 幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校(園)長、副校(園)長、教頭、主幹教諭、保健主事、養護教諭、保健体育科教諭、安全担当教諭、その他の教職員
- (2) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師
- (3) 教育委員会の学校保健・学校安全関係職員
- (4) 学校保健会事務局の職員
- (5) PTA会員、その他都道府県・指定都市・中核市教育委員会で適当と認めた者

9 資料代 3,000円

10 関係団体が主催する行事

- (1) 第50回全国学校保健・学校医大会 令和元年11月23日(土)
- (2) 第69回全国学校歯科医協議会 令和元年11月21日(木)
- (3) 第69回全国学校薬剤師大会 令和元年11月21日(木)

11 全体会及び課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会会場

【1日目】令和元年11月21日（木）全体会・受賞伝達式

内 容	会 場
全体会（開会式・表彰式・記念講演）	大ホール （ホール棟 1 F）
受賞伝達式（学校保健表彰）	小ホール （ホール棟 2 F）
受賞伝達式（学校安全表彰・学校安全ボランティア活動奨励賞）	国際会議室 （ホール棟 4 F）

【2日目】令和元年11月22日（金）課題別研究協議会・全国学校保健会中央大会
 <午前の部> 9:30～12:00（9:00開場）

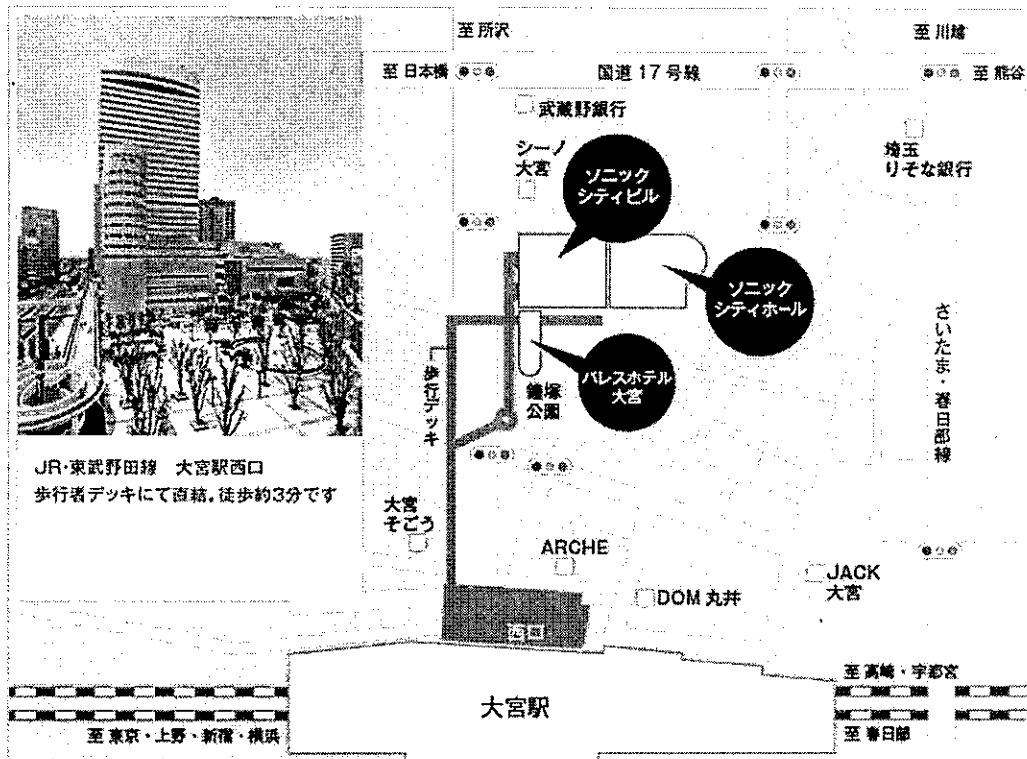
内 容	会 場
第1課題（学校経営と組織活動）	市民ホール 401・402 （ビル棟 4 F）
第2課題（保健管理）	小ホール （ホール棟 2 F）
第3課題（心の健康）	第1展示場 （ビル棟 B1 F）
第5課題（歯・口の健康づくり）	国際会議室 （ホール棟 4 F）
第10課題 （関係機関等との連携による安全の体制整備）	市民ホール 403・404 （ビル棟 4 F）

<午後の部> 13:00～15:30

内 容	会 場
第4課題（現代的健康課題）	第1展示場 （ビル棟 B1 F）
第6課題（学校環境衛生）	市民ホール 401・402 （ビル棟 4 F）
第7課題（喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育）	小ホール （ホール棟 2 F）
第8課題（学校事故防止対策）	国際会議室 （ホール棟 4 F）
第9課題（教科等における安全教育）	市民ホール 403・404 （ビル棟 4 F）
全国学校保健会中央大会	第3・4展示場 （ビル棟 B1 F）

※参加希望人数により、会場を変更する場合があります。

12 大会会場（ソニックシティ）へのアクセスについて



新幹線でお越しのお客様

東北・北海道新幹線	直通218分	直通180分	直通122分	直通75分	直通63分	直通24分
	新青森	新青森	盛岡	仙台	福島	宇都宮
秋田新幹線	直通214分					
	秋田					
山形新幹線	直通130分					
	山形					
上越新幹線	直通100分					直通25分 高崎
	新潟					
北陸新幹線	直通125分	直通105分	直通60分			
	金沢	富山	長野			
東北・上越北陸新幹線	直通23分					
	東京					

大宮駅



在来線でお越しのお客様

JR湘南新宿ライン	直通55分		直通27分	直通21分
	横浜		新宿	池袋
JR上野東京ライン	直通36分	直通25分		
	東京	上野		
東武野田線	直通96分		直通15分	
	船橋		春日部	

大宮駅



飛行機でお越しのお客様

JR成田エクスプレス		直通105分	
	成田空港		
京成スカイライナー		上野乗換・JR高崎・宇都宮線利用 84分	
高速バスONライナー		直通120~140分	
モノレール		浜松町乗換・JR京浜東北線利用 64分	
高速バス	羽田空港	直通85~105分	

大宮駅

〔別表〕 令和元年度全国学校保健・安全研究大会 課題別研究協議会

課 題	研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第1課題	学校経営と保健組織活動	心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要がある。 そのため、学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭及び地域社会が一体となった組織活動の効果的な取組について協議する。	① 健康教育を中核とした学校経営の進め方について ② 保健主事を核として推進する健康教育の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校保健委員会の効果的な取組について
第2課題	保健管理	生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るためには、ヘルスプロモーションの理念を生かし、学校や地域の実態、個々の子供に応じた対応を図る必要がある。 そのため、学校での適切な保健管理の進め方について協議する。	① 適切な健康診断の実施と事後措置の進め方並びに結果の活用について ② ヘルスプロモーションの考え方を生かした指導や保健管理の進め方について ③ 感染症・食中毒等の予防及び発生時の対応について
第3課題	心の健康	豊かな人間性と社会性を育み、心の健康の保持増進を目指す教育の進め方 自然災害や重大な事件・事故の発生に伴う子供の心のケアや、友人や家族などの人間関係の悩みなど、メンタルヘルスに関する問題が多様化している中、これらの問題への適切な対応が求められている。 そのため、心の健康づくりを目指した教育活動や校内外の組織体制づくりの進め方について協議する。	① 児童生徒の課題に即した心のケアや健康相談の進め方について ② 心の健康づくりを目指した教育活動の展開と環境整備等の進め方について ③ 学校、家庭及び地域の関係機関との連携を図った心のケアの進め方について
第4課題	現代的健康課題	多様化する現代的健康課題に適切に対応するための保健活動の進め方 現代的な健康課題への対応にあたり、年齢や生活環境などに応じて、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。 そのため、生涯にわたり健康を保持増進するための望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について協議する。	① 発達の段階に応じた望ましい生活習慣づくりの進め方について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の進め方について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した望ましい生活習慣づくりに関する指導の進め方について
第5課題	歯・口の健康づくり	生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方 生涯にわたる健康づくりを实践するためには、自分の歯や口の健康に関心を持ち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切である。 そのため、歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動の進め方について協議する。	① 歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について ② 各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について ③ 学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 1 課 題	学校経営と保健組織活動	① 埼玉県蕨市立東中学校 校 長 佐 藤 恵 子	○講 師 宇都宮大学教育学部 准教授 久 保 元 芳 ○指導助言者（コーディネーター） 秋田県秋田市立広面小学校 校 長 星 野 和 貴
		② 愛知県立豊橋聾学校 保健主事 伊 藤 剛	
		③ 茨城県潮来市立日の出小学校 教 諭 長谷川 小 夜	
第 2 課 題	保健管理	① 鹿児島県立薩南工業高等学校 養護教諭 森 田 隆 子	○講 師 びわこ学院大学 教 授 岩 崎 信 子 ○指導助言者（コーディネーター） 北海道札幌市教育委員会 指導主事 半 澤 郁 子
		② 埼玉県毛呂山町立川角中学校 養護教諭 齋 藤 美 穂	
		③ 東京都板橋区立高島第一中学校 主任養護教諭 熊 谷 雅 子	
第 3 課 題	心の健康	① 兵庫県立西宮南高等学校 養護教諭 富 田 操	○講 師 跡見学園女子大学 教 授 松 寄 くみ子 ○指導助言者（コーディネーター） 神奈川県川崎市教育委員会 指導主事 田 中 理 恵
		② 埼玉県上尾市立大石小学校 養護教諭 喜 多 美 雪	
		③ 群馬県太田市立太田中学校 養護教諭 清 水 雅 世	
第 4 課 題	現代的健康課題	① 岐阜県立岐山高等学校 養護教諭 岩 佐 恭 子	○講 師 仙台大学体育学部 教 授 小 浜 明 ○指導助言者（コーディネーター） 埼玉県春日部市立川辺小学校 校 長 鈴 木 美 江
		② 埼玉県三郷市立早稲田中学校 主幹教諭 菅 野 恒 典	
		③ 千葉県君津市立久留里小学校 養護教諭 中 澤 恵津子	
第 5 課 題	歯・口の健康づくり	① 神奈川県立茅ヶ崎養護学校 総括教諭 一 瀬 恵 理	○講 師 日本学校歯科医会 副会長 柘 植 紳 平 ○指導助言者（コーディネーター） 愛知県立瀬戸高等学校 校 長 丸 山 洋 生
		② 栃木県宇都宮市立鬼怒中学校 養護教諭 棚 原 梨 紗	
		③ 埼玉県羽生市立新郷第二小学校 養護教諭 熊 木 和 美	

課 題		研究協議題	研究協議題設定の趣旨	研究協議の内容
第6課題	学校環境衛生	快適な学校環境づくりを目指す学校環境衛生活動の進め方	<p>快適な学習環境をつくるためには、環境衛生活動の充実を図るとともに、教職員及び児童生徒が学校における環境衛生について関心を持つことが必要である。</p> <p>そのため、学校環境衛生基準を踏まえた学校環境衛生活動の進め方について協議する。</p>	<p>① 計画的・組織的な学校環境衛生活動の実施と事後措置について</p> <p>② 学校環境衛生管理の徹底を図るための取組について</p> <p>③ 学校薬剤師との連携による学校環境衛生の取組について</p>
第7課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	安全で豊かな社会と健康を守り育てるための喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方	<p>近年、青少年の喫煙や飲酒、薬物乱用が広がりをみせ、依然として深刻な状況にあることから、安全で豊かな社会と自らの健康を守り育てるための教育を充実する必要がある。</p> <p>そのため、発達の段階に即し、喫煙や飲酒、薬物乱用の防止教育を推進する方法について協議する。</p>	<p>① 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育に関する指導計画の作成、実施、評価及び改善について</p> <p>② 小学校、中学校、高等学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p> <p>③ 学校、家庭及び地域社会が連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方について</p>
第8課題	学校事故防止対策	事件や事故、災害を未然に防ぐ事前の危機管理や発生時の適切な対応について	<p>学校事故を未然に防ぐためには、日本スポーツ振興センター災害共済給付データを活用した事故分析手法を各学校で生かすとともに、同センターの調査研究についての理解を深める必要がある。</p> <p>また、事故検証やそれに基づいた再発防止策の立案と実施、継続、情報発信等の方法について協議する。</p>	<p>① 日本スポーツ振興センターの災害共済給付データを活用した安全対策について</p> <p>② 事件や事故、災害の検証に基づいた再発防止対策の在り方について</p> <p>③ 事件や事故、災害発生時の適切な対応の在り方について</p>
第9課題	教科等における安全教育	発達の段階に応じた効果的な安全教育について	<p>生涯にわたり安全な生活を送るためには、自他の生命尊重の理念を基盤として、進んで安全で安心な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成する必要がある。</p> <p>そのため、発育発達の段階における特徴を考慮しつつ、効果的な安全教育の進め方について協議する。</p>	<p>① 安全で安心な社会づくりへの参画を意識し、自らの責任を自覚して行動する生徒の育成について</p> <p>② 的確な判断のもと主体的に行動し、地域の安全活動等に参加する生徒の育成について</p> <p>③ 自らの安全を守るために主体的に行動し、他の人々の安全にも気配りができる児童の育成について</p>
第10課題	関係機関等との連携による安全の体制整備	学校・家庭・地域が連携した効果的な安全体制整備の在り方と通学路における安全確保の方策について	<p>学校安全体制を充実させるためには、校内体制を整備するとともに、関係機関や地域ボランティア等との連携を深めることが重要である。</p> <p>そのため、学校、家庭及び地域社会が連携した効果的な安全体制整備や安全確保方策の在り方について協議する。</p>	<p>① 学校安全充実のための効果的な校内体制の在り方について</p> <p>② 関係機関や地域ボランティア等との連携による防犯・交通安全の体制整備について</p> <p>③ 関係機関や保護者・地域住民等との連携による災害安全の体制整備について</p>

課 題		研究発表者	講師・指導助言者（コーディネーター）
第 6 課 題	学校環境衛生	① 埼玉県熊谷市立妻沼西中学校 校 長 齋 藤 健 一	○講 師 法政大学スポーツ健康学部 教 授 鬼 頭 英 明 ○指導助言者（コーディネーター） 福岡県教育庁教育振興部 保健給食係 技術主査 竹 石 倫 子
		② 山口県立下関双葉高等学校 養護教諭 川 原 眞由美	
		③ 広島県薬剤師会 常務理事 平 本 敦 大	
第 7 課 題	喫煙、 防止教育 飲酒、薬物乱用	① 埼玉県立大宮高等学校 教 諭 伊 東 和 矢	○講 師 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 教 授 西 岡 伸 紀 ○指導助言者（コーディネーター） 青森県青森市立千刈小学校 校 長 越 田 強
		② 山梨県富士吉田市立富士小学校 養護教諭 大 谷 裕 美	
		③ 島根県立矢上高等学校 教 諭 小 泉 育 代	
第 8 課 題	学校事故防止対策	① 日本スポーツ振興センター学校安全部 安全支援課長 田 中 文 人	○講 師 学校安全教育研究所 代 表 戸 田 芳 雄 ○指導助言者（コーディネーター） 全国学校安全教育研究会会長 （葛飾区立柴又小学校校長） 木 間 東 平
		② 宮崎県川南町教育委員会 教育対策監 肝 付 正 籍	
		③ 岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主査スポーツ振興専門員 小野寺 丈 晴	
第 9 課 題	教科等における安全教育	① 静岡県立松崎高等学校 教 諭 植 松 聖 陽	○講 師 東北工業大学教職課程センター 教 授 小 川 和 久 ○指導助言者（コーディネーター） 宮城県教育庁スポーツ健康課 課長補佐 村 岡 太
		② 熊本県立八代工業高等学校 校 長 江 藤 義 英	
		③ 埼玉県さいたま市立慈恩寺小学校 教 諭 松 島 大 樹	
第 10 課 題	関係機関等との連携による安全の体制整備	① 大阪府立中央聴覚支援学校 校 長 北 口 直 樹	○講 師 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 企画監 吉 門 直 子 ○指導助言者（コーディネーター） 秋田県教育庁保健体育課 防災教育・安全班 副主幹(兼)班長 安 田 知 明
		② 埼玉県秩父市立南小学校 主幹教諭 飯 島 克 行	
		③ 長野県辰野町立辰野中学校 教 諭 堀 川 隆 義	

令和元年度全国学校保健・安全研究大会 募集要項

(参加登録・宿泊・弁当のご案内)

令和元年 7 月

令和元年度全国学校保健・安全研究大会ご参加の皆様

株式会社日本旅行埼玉支店

株式会社日本旅行埼玉支店では、令和元年 11 月 21 日・22 日にさいたま市で開催される「令和元年度全国学校保健・安全研究大会」における「参加申し込み」「宿泊の手配」等を標記大会実行委員会から受託いたしました。

つきましては、下記のとおりご案内させていただきます。

記

1 大会概要

- (1) 開催期日 令和元年 11 月 21 日 (木)・22 日 (金)
- (2) 開催場所 ソニックシティ (埼玉県さいたま市)
- (3) 資料代 3,000 円

2 大会参加申込について

(1) 申込方法

専用ホームページからお申し込みください。

ホームページアドレス：

<https://va.apollon.nta.co.jp/2019zengakuhoken/>

※参加証は登録のメールアドレスに大会の 2 週間前をめぐに送付します。
印刷し当日お持ちください。

(2) 申込期間

令和元年 7 月 22 日 (月) 午前 9 時から令和元年 9 月 30 日 (月) 午後 5 時まで
※期間中は 24 時間申込・変更が可能です。

(3) 決済方法

ア 支払い期限

令和元年 10 月 11 日 (金)

イ 支払い方法

- ①請求書記載の振込先への振込み（振込手数料は各自のご負担となります。）
- ②ホームページからクレジットカードによる支払い
- ③コンビニでの支払い

ウ 領収書の発行

入金が確認後、ホームページから領収書の発行が可能となります。

手書の領収書が必要な場合は日本旅行担当者まで電子メールでご依頼ください。

※変更・取り消しにより生じた減額分は大会終了後返金先の口座へお振込となります。

3 宿泊（募集型企画旅行契約）・弁当の手配について

今大会開催に当たり、参加者の宿泊施設を以下のようにご用意いたしております。

(1) 宿泊

ア 宿泊設定日

令和元年11月20日（水）【前泊】

令和元年11月21日（木）【当日泊】

令和元年11月22日（金）【後泊】

イ 行程

出発地（ご自宅）⇒各自⇒宿泊ホテル/宿泊ホテル⇒各自⇒到着地（ご自宅）

※添乗員は同行いたしません。

※料金は全て1泊朝食付きサービス料税込み

ウ 宿泊ホテル

別紙のとおり

エ 取消料

取消日	4日前まで	3日前	2日前	前日	当日 (無連絡)
宿泊	無料	20%	20%	50%	100%

(2) お弁当について

ア 設定日

令和元年11月22日（金）

イ 料金

お弁当1個当たり¥1,000（税込み・お茶付）

ウ その他

お弁当は午前の分科会終了後、分科会の会場で配布します。

お弁当容器は弊社にて回収箱を用意いたします。

エ 取消料

取消日	11月21日 12:00 まで	11月21日 12:00 以降
取消料	無料	100%

(3) 申込方法

専用ホームページからお申し込みください。

ホームページアドレス：

<https://va.apollon.nta.co.jp/2019zengakuhoken/>

(4) 申込期間

令和元年7月22日(月)午前9時から令和元年9月30日(月)午後5時まで
※期間中は24時間申込・変更が可能です。

(5) 決済方法

ア 支払い期限

令和元年10月11日(金)

イ 支払い方法

①請求書記載の振込先への振込み(振込手数料は各自のご負担となります。)

②ホームページからクレジットカードによる支払い

③コンビニでの支払い

ウ 領収書の発行

入金が確認後、ホームページから領収書の発行が可能となります。

手書の領収書が必要な場合は日本旅行担当者まで電子メールでご依頼ください。

※変更・取り消しにより生じた減額分は大会終了後返金先の口座へお振込となります。

4 お問合せ

その他大会参加申込については、以下までお問い合わせください。

観光庁登録旅行業第2号

株式会社日本旅行 埼玉支店 イベントコンベンションデスク

「令和元年度全国学校保健・安全研究大会」係

担当：村田(むらた)・松岡(まつおか)

〒330-0802

埼玉県さいたま市大宮区宮町4-129 大栄ツインビル5階

電話：048-648-7050 FAX：048-648-6455

E-mail:saitama_ec@nta.co.jp

営業時間：月～金曜日 9：30～17：30(土日祝日は休業)

総合旅行業務取扱管理者：白川 悟士

別紙

宿泊エリア	施設名	アクセス (ソニックシティから)	申込記号	利用客室	宿泊料金 (お一人様)	地区番号
大宮	パレスホテル大宮	会場隣接	1-S	シングル	¥13,500	①
			1-T	ツイン	¥11,500	
	マロウドイン大宮	徒歩4分	2-S	シングル	¥8,500	②
	パイオランドホテル	徒歩10分	3-S	シングル	¥8,800	③
			3-T	ツイン	¥7,500	
新都心	アパホテルさいたま新都心北	JR・徒歩にて17分	4-S	シングル	¥10,300	④
	ホテルトリプルインさいたま新都心	JR・徒歩にて15分	5-S	シングル	¥12,500	⑤
	ホテルグランデ武蔵野	JR・徒歩にて20分	7-S	シングル	¥9,900	⑥
	ラフレさいたま	JR・徒歩にて20分	6-S	シングル	¥11,900	⑦
			6-T	ツイン	¥11,900	
与野	与野第一ホテル	バス・徒歩にて15分	8-S	シングル	¥7,700	⑧
浦和	浦和ロイヤルパインズホテル	JR・徒歩にて20分	9-S	シングル	¥13,100	⑨
			9-T	ツイン	¥11,000	
	浦和フシントンホテル	JR・徒歩にて20分	10-S	シングル	¥10,500	⑩
			10-T	ツイン	¥8,900	
南浦和	ホテルニュー埼玉	JR・徒歩にて25分	11-S	シングル	¥9,300	⑪
川越	川越プリンスホテル	JR・徒歩にて35分	12-S	シングル	¥13,200	⑫
			12-T	ツイン	¥11,600	
	川越東武ホテル	JR・徒歩にて30分	13-S	シングル	¥9,500	⑬
			13-T	ツイン	¥9,000	
	川越第一ホテル	JR・徒歩にて30分	14-S	シングル	¥8,400	⑭
	ディリーホテル小江戸川越	JR・徒歩にて35分	15-S	シングル	¥6,600	⑮
上尾	上尾東武ホテル	JR・徒歩にて20分	16-S	シングル	¥8,800	⑯
			16-T	ツイン	¥8,500	
	むさしのグランドホテル&スパ	ニューヤル・徒歩にて25分	17-S	シングル	¥8,500	⑰
	ホテルレートイン上尾	JR・徒歩にて30分	18-S	シングル	¥7,700	⑱
			18-T	ツイン	¥7,700	
川口	スマイルホテル川口	JR・徒歩にて30分	19-S	シングル	¥10,000	地区外
			19-T	ツイン	¥9,000	
志木	ディリーホテル志木	JR・東武・徒歩にて35分	20-S	シングル	¥6,600	
	パーシモンホテル	JR・東武・徒歩にて35分	21-S	シングル	¥7,500	
新座	ディリーホテル新座	JR・徒歩にて40分	22-S	シングル	¥6,600	

宿泊エリア	施設名	アクセス (ソニックシティから)	申込記号	利用客室	宿泊料金 (お一人様)	地区番号
みずほ台	ディリーホテルみずほ台	JR・東武・徒歩にて35分	23-S	シングル	¥6,600	地区外
朝霞	ディリーホテル朝霞	JR・東武・徒歩にて35分	24-S	シングル	¥6,600	
上福岡	ディリーホテル上福岡	JR・東武・徒歩にて35分	25-S	シングル	¥6,600	
鴻巣	ホテルレートイン鴻巣	JR・徒歩にて40分	26-S	シングル	¥7,700	
			26-T	ツイン	¥7,700	

- ・食事が不要の場合でも料金の減額・返金はありません。
- ・定員数はシングルは1名様、ツインは2名様となります。
- ・禁煙/喫煙についてはご要望はお伺いいたしますが確約はできません。
- ・宿泊の可否についてはFAXでお申込の場合は後日お送りいたします「予約確認書」にてご確認をお願いします。
- ・FAXで申込の場合は、宿泊希望を第二希望まで記入してください。
先着順に受付をさせていただきますが設定数に限りがございますのでご希望どおりの宿泊施設が確保できない場合がございます。
- ・ホームページから予約の場合は、希望のホテルの予約が完了した時点で確定となります。

